

令和2年度

学校評価報告書

◆ **3年間の中期重点目標(平成30～令和2年度)と今年度の重点目標(太字ゴシック)**

(1) 人間としての在り方生き方の軸をつくる

①**キャリア在り方生き方教育の推進**

②生徒会活動の充実

③あいさつ活動の推進

(2) 学ぶ意欲を育て「生きる力」を伸ばす

④確かな学力の育成

⑤豊かな心の育成

⑥健やかな心身の育成

⑦**ICT教育の推進**

(3) 一人一人の教育的ニーズに対応する

⑧支援教育の推進

⑨**かわさき共生*共育プログラムの実施と活用**

⑩いじめ・不登校の未然防止と早期対応

(4) 良好な教育環境を整備する

⑪防災教育・安全教育の推進

⑫快適な教育環境の整備

⑬部活動の安定的な運営

(5) 学校の教育力を強化する

⑭教職員研修の充実

⑮**学校評価を生かした教育活動の推進**

⑯適正な校務の遂行と公務員倫理の確立

⑰体罰や不適切な指導の根絶

(6) 家庭・地域と連携する

⑱教育相談の充実と家庭、地域との連絡・連携の徹底

⑲基本的な生活習慣の確立

⑳情報発信の充実

◆ **令和2年度 小中連携教育カリキュラム開発研究推進校**

令和2～3年度 総合的な学習の時間研究推進校としての取組

研究主題 よりよい社会を創り上げる豊かな人間の育成をめざした「総合的な学習の時間」における教育課程の研究

副 主 題 「キャリア在り方生き方教育」を礎に据えて

令和3年3月

川崎市立南生田中学校

学校評価の目的

教育活動の改善・充実を図ります

Plan (計画)

重点目標の
設定

Do (実践)

教育活動の
実践

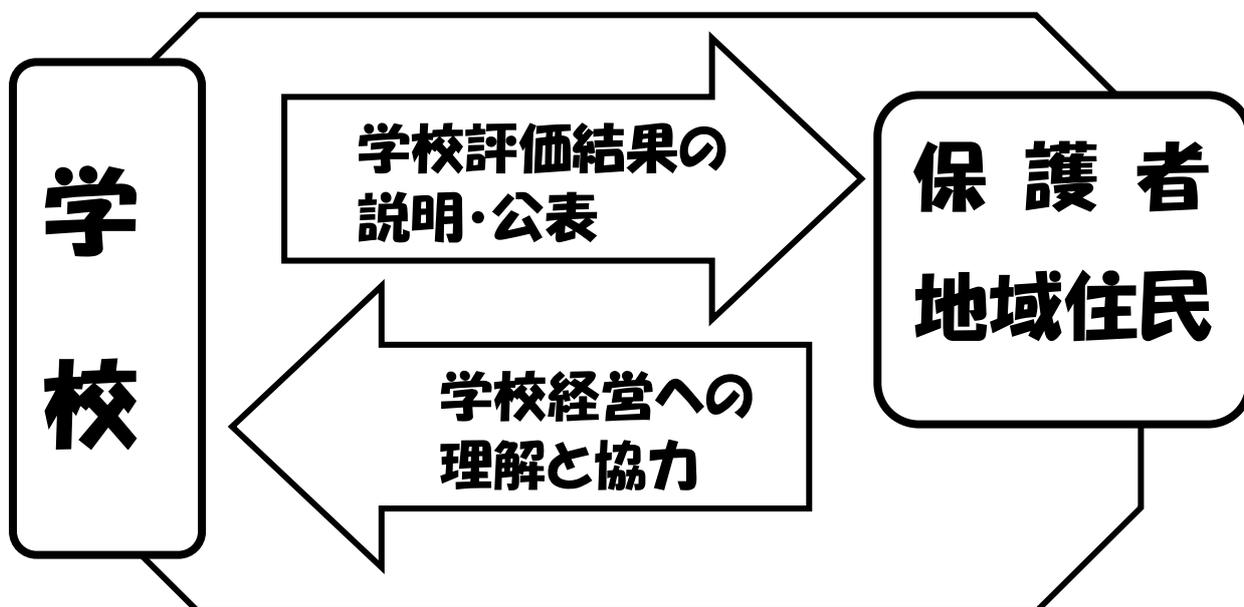
Check (評価)

達成状況の
評価・検証

Action (改善)

教育活動の
改善・充実

信頼される開かれた学校づくりを推進します



学校評価の種類

自己評価

教職員が重点目標の達成状況について評価し（10点満点）、成果や課題等を整理することにより、次年度に向けての改善の方向性等を検討します。

学校関係者評価

学校運営協議会が教職員の自己評価結果に基づき、その適切さについて検証します。

評価計画

自己評価

Plan

経営計画と重点目標の設定（3月）

- 学校説明会の開催
- HPによる公表

評価計画・項目の設定（4月）

Do

教育活動の展開（4～3月）

- 学習や行事、日常的な取組
- 学年会・分掌部会等の定期的な開催

- 学校・学年・学級だより等の継続的な発行
- HPの更新
- 授業参観・懇談会の開催
- ふれあい広場の実施

Check

生徒・保護者アンケートの実施と分析・まとめ（12～1月）

自己評価の実施（1月）

- 全教職員による評価
- 評価結果のまとめ
- 課題の整理と改善策の検討

学校評価報告書の作成（2月）

評価結果の公表（3月）

- 保護者への配付
 - HPによる公表
- 市教委への提出（3月）

Action

年度末のまとめ（3月）

- 評価結果に基づく教育活動の見直しと改善
- 次年度の計画と目標の設定

学校関係者評価

学校運営協議会による評価

- 地域代表 保護者代表
- 生徒代表 教職員代表

第1回学校運営協議会（7月）

- 学校からの経営計画、重点項目・実践計画等についての説明

第2・3回学校運営協議会議（10月）

- 授業や行事の参観
- 教職員、生徒、保護者、地域からの意見聴取

第4回学校運営協議会（2月）

- 自己評価に基づく評価

(1) 人間としての在り方生き方の軸をつくる

重点目標	①キャリア在り方生き方教育の推進 ②生徒会活動の充実 ③あいさつ活動の推進																									
自己評価	評価の観点	評価																								
	①キャリア在り方生き方教育の推進を行っている	7.5																								
	②生徒会活動の充実を図っている	8.2																								
	③あいさつがしっかりできる生徒の育成に努めている	7.9																								
生徒アンケート	<table border="1"> <caption>生徒アンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>十分達成</th> <th>おおむね達成</th> <th>やや不十分</th> <th>不十分</th> <th>空白</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①キャリア在り方生き方教育が充実している</td> <td>29%</td> <td>59%</td> <td>9%</td> <td>3%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>②生徒会活動が活発である</td> <td>43%</td> <td>45%</td> <td>11%</td> <td>2%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>③あいさつがしっかりできる学校である</td> <td>22%</td> <td>47%</td> <td>28%</td> <td>3%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>		項目	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分	空白	①キャリア在り方生き方教育が充実している	29%	59%	9%	3%	0%	②生徒会活動が活発である	43%	45%	11%	2%	0%	③あいさつがしっかりできる学校である	22%	47%	28%	3%	0%
	項目	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分	空白																				
	①キャリア在り方生き方教育が充実している	29%	59%	9%	3%	0%																				
	②生徒会活動が活発である	43%	45%	11%	2%	0%																				
③あいさつがしっかりできる学校である	22%	47%	28%	3%	0%																					
保護者アンケート	<table border="1"> <caption>保護者アンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>十分達成</th> <th>おおむね達成</th> <th>やや不十分</th> <th>不十分</th> <th>空白</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①学校はキャリア在り方生き方教育の推進に努めている</td> <td>10%</td> <td>61%</td> <td>16%</td> <td>3%</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>②学校は生徒会活動の充実を図っている</td> <td>19%</td> <td>63%</td> <td>8%</td> <td>2%</td> <td>8%</td> </tr> <tr> <td>③学校にはあいさつがしっかりできる生徒の姿がある</td> <td>29%</td> <td>49%</td> <td>16%</td> <td>3%</td> <td>2%</td> </tr> </tbody> </table>		項目	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分	空白	①学校はキャリア在り方生き方教育の推進に努めている	10%	61%	16%	3%	10%	②学校は生徒会活動の充実を図っている	19%	63%	8%	2%	8%	③学校にはあいさつがしっかりできる生徒の姿がある	29%	49%	16%	3%	2%
	項目	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分	空白																				
	①学校はキャリア在り方生き方教育の推進に努めている	10%	61%	16%	3%	10%																				
	②学校は生徒会活動の充実を図っている	19%	63%	8%	2%	8%																				
③学校にはあいさつがしっかりできる生徒の姿がある	29%	49%	16%	3%	2%																					
<h2>〔成果と課題〕</h2> <p>令和2年度小中連携教育カリキュラム開発研究推進校ならびに、令和2・3年度総合的な学習の時間研究推進校としての指定を受け、「よりよい社会を創り上げる豊かな人間の育成をめざした『総合的な学習の時間』における教育課程の研究」を研究主題とし、「『キャリア在り方生き方教育』を礎に据えて」を副主題として取り組んだ。しかし、コロナ禍にあつて、特に企業や事業所、NPO等に協力を求めた講演会や講座学習は計画通りに実施できない状況にあつた。</p> <p>生徒会活動においては、生徒会本部を中心として生徒一人一人が主体的に取り組む活動が展開された。特に体育祭や文化祭の演示の部において、実行委員や生徒会本部を中心として生徒が集まり、話し合いを重ね、企画を練り、生徒が中心となる取組として実施することができた。中でも、リーダーを中心に新型コロナウイルス感染症やSDGsをテーマとして行った文化祭での演劇では、全校生徒にコロナ禍における課題を投げかけ、生徒自身が行動を見つめ直す機会とすることができた。</p> <p>あいさつに関わる生徒アンケート及び保護者アンケートでは、昨年度より5ポイント以上評価が下がっており、あいさつに課題があると感じている生徒が増えている。あいさつがしっかりできる生徒の育成に取り組んでいきたい。</p>																										

(2) 学ぶ意欲を育て「生きる力」を伸ばす

重点目標	④確かな学力の育成 ⑤豊かな心の育成 ⑥健やかな心身の育成 ⑦ICT教育の推進																															
自己評価	評価の観点	評価																														
	④確かな学力の育成が図れるよう授業を工夫している	8.6																														
	⑤豊かな心の育成が図れる指導に努めている	8.4																														
	⑥健やかな心身の育成が図れる指導に努めている	8.4																														
	⑦ICTの活用を積極的に行っている	7.9																														
生徒アンケート	<table border="1"> <caption>生徒アンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>十分達成</th> <th>おおむね達成</th> <th>やや不十分</th> <th>不十分</th> <th>空白</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>④授業は確かな学力の育成が図れる工夫がある</td> <td>33%</td> <td>52%</td> <td>12%</td> <td>2%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>⑤学校生活は豊かな心の育成が図れる場となっている</td> <td>36%</td> <td>48%</td> <td>12%</td> <td>4%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>⑥学校生活は健やかな心身の育成が図れる場となっている</td> <td>35%</td> <td>50%</td> <td>13%</td> <td>2%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>⑦授業はICTの活用が進められている</td> <td>25%</td> <td>46%</td> <td>24%</td> <td>5%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>		項目	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分	空白	④授業は確かな学力の育成が図れる工夫がある	33%	52%	12%	2%	0%	⑤学校生活は豊かな心の育成が図れる場となっている	36%	48%	12%	4%	0%	⑥学校生活は健やかな心身の育成が図れる場となっている	35%	50%	13%	2%	0%	⑦授業はICTの活用が進められている	25%	46%	24%	5%	0%
項目	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分	空白																											
④授業は確かな学力の育成が図れる工夫がある	33%	52%	12%	2%	0%																											
⑤学校生活は豊かな心の育成が図れる場となっている	36%	48%	12%	4%	0%																											
⑥学校生活は健やかな心身の育成が図れる場となっている	35%	50%	13%	2%	0%																											
⑦授業はICTの活用が進められている	25%	46%	24%	5%	0%																											
保護者アンケート	<table border="1"> <caption>保護者アンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>十分達成</th> <th>おおむね達成</th> <th>やや不十分</th> <th>不十分</th> <th>空白</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>④授業は確かな学力の育成が図れる工夫がある</td> <td>8%</td> <td>57%</td> <td>25%</td> <td>6%</td> <td>4%</td> </tr> <tr> <td>⑤学校生活は豊かな心の育成が図れる場となっている</td> <td>14%</td> <td>61%</td> <td>17%</td> <td>3%</td> <td>4%</td> </tr> <tr> <td>⑥学校生活は健やかな心身の育成が図れる場となっている</td> <td>15%</td> <td>63%</td> <td>17%</td> <td>3%</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td>⑦授業はICTの活用が進められている</td> <td>6%</td> <td>45%</td> <td>28%</td> <td>8%</td> <td>13%</td> </tr> </tbody> </table>		項目	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分	空白	④授業は確かな学力の育成が図れる工夫がある	8%	57%	25%	6%	4%	⑤学校生活は豊かな心の育成が図れる場となっている	14%	61%	17%	3%	4%	⑥学校生活は健やかな心身の育成が図れる場となっている	15%	63%	17%	3%	3%	⑦授業はICTの活用が進められている	6%	45%	28%	8%	13%
項目	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分	空白																											
④授業は確かな学力の育成が図れる工夫がある	8%	57%	25%	6%	4%																											
⑤学校生活は豊かな心の育成が図れる場となっている	14%	61%	17%	3%	4%																											
⑥学校生活は健やかな心身の育成が図れる場となっている	15%	63%	17%	3%	3%																											
⑦授業はICTの活用が進められている	6%	45%	28%	8%	13%																											
〔成果と課題〕 <p> 確かな学力の育成では、自己評価で0.7ポイント、保護者アンケートで7ポイント昨年度より評価が上がった。年度初めに新学習指導要領の理解を図れるよう、川崎市教育委員会より22名の指導主事等に来校いただき、授業研究や指導と評価について研修を行うことが改善につながった要因として捉えられる。 </p> <p> 豊かな心の育成では、自己評価で0.5ポイント、生徒アンケートで4ポイント昨年度より評価が上がっているが、保護者アンケートは4ポイント評価が下がっていた。キャリア在り方生き方教育やSDGsの取組を推進する中で豊かな心の育成を図りたい。 </p> <p> 今年度の重点目標の一つとして位置付けたICT教育の推進においては、自己評価で0.8ポイント、生徒アンケートで8ポイント昨年度より評価が上がっており、ICTの活用が改善されていると考える。しかし、保護者アンケートにおいては昨年度との差異はほとんど見られなかった。今後において、GIGAスクール構想の取組を行っていく中で、ICT教育の推進を図っていきたい。 </p>																																

(3) 一人一人の教育的ニーズに対応する

重点目標	⑧支援教育の推進 ⑨かわさき共生*共育プログラムの実施と活用 ⑩いじめ・不登校の未然防止と早期対応																								
自己評価	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">評価の観点</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⑧支援教育の推進に努めている</td> <td></td> <td>8.4</td> </tr> <tr> <td>⑨かわさき共生*共育プログラムの実施と活用に努めている</td> <td></td> <td>6.9</td> </tr> <tr> <td>⑩いじめ・不登校の未然防止と早期対応に努めている</td> <td></td> <td>8.6</td> </tr> </tbody> </table>	評価の観点		評価	⑧支援教育の推進に努めている		8.4	⑨かわさき共生*共育プログラムの実施と活用に努めている		6.9	⑩いじめ・不登校の未然防止と早期対応に努めている		8.6												
評価の観点		評価																							
⑧支援教育の推進に努めている		8.4																							
⑨かわさき共生*共育プログラムの実施と活用に努めている		6.9																							
⑩いじめ・不登校の未然防止と早期対応に努めている		8.6																							
生徒アンケート	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <caption>生徒アンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>十分達成</th> <th>おおむね達成</th> <th>やや不十分</th> <th>不十分</th> <th>空白</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⑧学校は支援教育の推進に努めている</td> <td>33%</td> <td>51%</td> <td>13%</td> <td>3%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>⑨学校はかわさき共生*共育プログラムの実施と活用に努めている</td> <td>34%</td> <td>54%</td> <td>9%</td> <td>2%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>⑩学校はいじめ・不登校の未然防止と早期対応に努めている</td> <td>20%</td> <td>36%</td> <td>31%</td> <td>12%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	項目	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分	空白	⑧学校は支援教育の推進に努めている	33%	51%	13%	3%	0%	⑨学校はかわさき共生*共育プログラムの実施と活用に努めている	34%	54%	9%	2%	0%	⑩学校はいじめ・不登校の未然防止と早期対応に努めている	20%	36%	31%	12%	0%
項目	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分	空白																				
⑧学校は支援教育の推進に努めている	33%	51%	13%	3%	0%																				
⑨学校はかわさき共生*共育プログラムの実施と活用に努めている	34%	54%	9%	2%	0%																				
⑩学校はいじめ・不登校の未然防止と早期対応に努めている	20%	36%	31%	12%	0%																				
保護者アンケート	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <caption>保護者アンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>十分達成</th> <th>おおむね達成</th> <th>やや不十分</th> <th>不十分</th> <th>空白</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⑧教職員は支援教育の推進に努めている</td> <td>12%</td> <td>58%</td> <td>13%</td> <td>3%</td> <td>14%</td> </tr> <tr> <td>⑨教職員はかわさき共生*共育プログラムの実施と活用に努めている</td> <td>11%</td> <td>60%</td> <td>14%</td> <td>2%</td> <td>14%</td> </tr> <tr> <td>⑩教職員はいじめ・不登校の未然防止と早期対応に努めている</td> <td>8%</td> <td>48%</td> <td>25%</td> <td>8%</td> <td>9%</td> </tr> </tbody> </table>	項目	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分	空白	⑧教職員は支援教育の推進に努めている	12%	58%	13%	3%	14%	⑨教職員はかわさき共生*共育プログラムの実施と活用に努めている	11%	60%	14%	2%	14%	⑩教職員はいじめ・不登校の未然防止と早期対応に努めている	8%	48%	25%	8%	9%
項目	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分	空白																				
⑧教職員は支援教育の推進に努めている	12%	58%	13%	3%	14%																				
⑨教職員はかわさき共生*共育プログラムの実施と活用に努めている	11%	60%	14%	2%	14%																				
⑩教職員はいじめ・不登校の未然防止と早期対応に努めている	8%	48%	25%	8%	9%																				
<p>〔成果と課題〕</p> <p>支援教育の推進においては、自己評価で1.1ポイント昨年度より評価が上がった。支援教育コーディネーターを核とした校内支援体制を構築し取り組み、校内組織の整備、定期的な会議の開催、支援のニーズに対応できる体制を推進した。特に、学習に課題のある生徒一人一人に対応できるよう、学習相談室では週29時間の時間割を設定し、それぞれの教科担当による授業ができるようにした。これにより学習を進めたり、取組をきっかけとして自身の教室での学習を行うようになったりする生徒があった。</p> <p>今年度の重点目標の一つとして位置付けたかわさき共生*共育プログラムの実施と活用については、自己評価で0.9ポイント、生徒アンケートで10ポイント昨年度より評価が上がった。今後も取組を継続し、生徒理解や生徒同士の人間関係づくりの一助としていきたい。</p> <p>いじめ・不登校の未然防止と早期対応については、自己評価で0.7ポイント昨年度より評価が上がった。生徒アンケートや保護者アンケートの結果にはなかなか反映しないものと考えるが、生徒や保護者が安心できるように、未然防止と早期対応に努めていきたい。</p>																									

(4) 良好な教育環境を整備する

重点目標	①防災教育・安全教育の推進 ②快適な教育環境の整備 ③部活動の安定的な運営																									
自己評価	評 価 の 観 点	評 価																								
	①防災教育・安全教育の推進に努めている	7.9																								
	②快適な教育環境の整備を進めている	8.1																								
	③部活動の適正な運営に努めている	8.0																								
生徒アンケート	<table border="1"> <caption>生徒アンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>十分達成</th> <th>おおむね達成</th> <th>やや不十分</th> <th>不十分</th> <th>空白</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①学校は防災教育・安全教育の推進に努めている</td> <td>43%</td> <td>44%</td> <td>11%</td> <td>2%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>②学校は快適な教育環境の整備を進めている</td> <td>35%</td> <td>45%</td> <td>14%</td> <td>5%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>③学校は部活動の適正な運営に努めている</td> <td>41%</td> <td>41%</td> <td>12%</td> <td>6%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>		項目	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分	空白	①学校は防災教育・安全教育の推進に努めている	43%	44%	11%	2%	0%	②学校は快適な教育環境の整備を進めている	35%	45%	14%	5%	0%	③学校は部活動の適正な運営に努めている	41%	41%	12%	6%	0%
	項目	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分	空白																				
	①学校は防災教育・安全教育の推進に努めている	43%	44%	11%	2%	0%																				
	②学校は快適な教育環境の整備を進めている	35%	45%	14%	5%	0%																				
③学校は部活動の適正な運営に努めている	41%	41%	12%	6%	0%																					
保護者アンケート	<table border="1"> <caption>保護者アンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>十分達成</th> <th>おおむね達成</th> <th>やや不十分</th> <th>不十分</th> <th>空白</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①学校は防災教育・安全教育の推進に努めている</td> <td>17%</td> <td>64%</td> <td>11%</td> <td>2%</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>②学校は快適な教育環境の整備を進めている</td> <td>19%</td> <td>58%</td> <td>15%</td> <td>4%</td> <td>4%</td> </tr> <tr> <td>③学校は部活動の安定的な運営に努めている</td> <td>16%</td> <td>52%</td> <td>21%</td> <td>10%</td> <td>2%</td> </tr> </tbody> </table>		項目	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分	空白	①学校は防災教育・安全教育の推進に努めている	17%	64%	11%	2%	5%	②学校は快適な教育環境の整備を進めている	19%	58%	15%	4%	4%	③学校は部活動の安定的な運営に努めている	16%	52%	21%	10%	2%
	項目	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分	空白																				
	①学校は防災教育・安全教育の推進に努めている	17%	64%	11%	2%	5%																				
	②学校は快適な教育環境の整備を進めている	19%	58%	15%	4%	4%																				
③学校は部活動の安定的な運営に努めている	16%	52%	21%	10%	2%																					

〔成果と課題〕

防災教育・安全教育の推進については、コロナ禍において川崎市のガイドラインを遵守し取り組んだ。年度初めの休校下での生徒の健康状態の把握や家庭学習の対応、6月の分散登校の対応、冬季における再び発令された緊急事態宣言への対応等、保護者の理解と生徒の協力により大きな混乱なく教育活動を進めることができた。また、PTAによる放課後の消毒作業の協力や地域・保護者からのアルコール等の寄贈は大変ありがたいものであった。

日々の中で安全管理に心がけ、業務員による迅速な修繕業務や環境美化が行われている。さらに、教育委員会との連携をとり、体育館ならびに金工室の改修工事が終了し教育環境の快適化が進められた。

部活動の安定的な運営については、自己評価で0.6ポイント、生徒アンケートで9ポイント昨年度より評価が上がった。今後も川崎市教育委員会より示された「川崎市立中学校の部活動に係る方針」に則り、本校における活動方針を示し、運用を行っていききたい。

(5) 学校の教育力を強化する

重点目標	⑭教職員研修の充実 ⑮学校評価を生かした教育活動の推進 ⑯適正な校務の遂行と公務員倫理の確立 ⑰体罰や不適切な指導の根絶																															
自己評価	評 価 の 観 点	評 価																														
	⑭研修に取り組み資質の向上に努めている	8.1																														
	⑮学校評価を生かした教育活動の推進を図っている	7.9																														
	⑯適正な校務の遂行と公務員倫理の確立に努めている	8.9																														
	⑰体罰や不適切な指導の根絶に努めている	9.3																														
生徒アンケート	<table border="1"> <caption>生徒アンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>十分達成</th> <th>おおむね達成</th> <th>やや不十分</th> <th>不十分</th> <th>空白</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⑭先生は研修に取り組み資質の向上に努めている</td> <td>36%</td> <td>53%</td> <td>9%</td> <td>2%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>⑮学校は学校評価を生かした教育活動の推進を図っている</td> <td>27%</td> <td>55%</td> <td>14%</td> <td>4%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>⑯先生は公務員として適正に校務を行っている</td> <td>44%</td> <td>40%</td> <td>11%</td> <td>5%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>⑰学校は体罰や不適切な指導の根絶に努めている</td> <td>45%</td> <td>36%</td> <td>16%</td> <td>3%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>		項目	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分	空白	⑭先生は研修に取り組み資質の向上に努めている	36%	53%	9%	2%	0%	⑮学校は学校評価を生かした教育活動の推進を図っている	27%	55%	14%	4%	0%	⑯先生は公務員として適正に校務を行っている	44%	40%	11%	5%	0%	⑰学校は体罰や不適切な指導の根絶に努めている	45%	36%	16%	3%	0%
	項目	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分	空白																										
	⑭先生は研修に取り組み資質の向上に努めている	36%	53%	9%	2%	0%																										
	⑮学校は学校評価を生かした教育活動の推進を図っている	27%	55%	14%	4%	0%																										
⑯先生は公務員として適正に校務を行っている	44%	40%	11%	5%	0%																											
⑰学校は体罰や不適切な指導の根絶に努めている	45%	36%	16%	3%	0%																											
保護者アンケート	<table border="1"> <caption>保護者アンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>十分達成</th> <th>おおむね達成</th> <th>やや不十分</th> <th>不十分</th> <th>空白</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⑭教職員は研修に取り組み資質の向上に努めている</td> <td>13%</td> <td>59%</td> <td>11%</td> <td>3%</td> <td>14%</td> </tr> <tr> <td>⑮学校は前年度の学校評価を生かした教育活動の推進を図っている</td> <td>8%</td> <td>60%</td> <td>13%</td> <td>3%</td> <td>15%</td> </tr> <tr> <td>⑯教職員は公務員として適正に校務を行っている</td> <td>22%</td> <td>56%</td> <td>12%</td> <td>4%</td> <td>7%</td> </tr> <tr> <td>⑰教職員は体罰や不適切な指導の根絶に努めている</td> <td>23%</td> <td>54%</td> <td>13%</td> <td>4%</td> <td>6%</td> </tr> </tbody> </table>		項目	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分	空白	⑭教職員は研修に取り組み資質の向上に努めている	13%	59%	11%	3%	14%	⑮学校は前年度の学校評価を生かした教育活動の推進を図っている	8%	60%	13%	3%	15%	⑯教職員は公務員として適正に校務を行っている	22%	56%	12%	4%	7%	⑰教職員は体罰や不適切な指導の根絶に努めている	23%	54%	13%	4%	6%
	項目	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分	空白																										
	⑭教職員は研修に取り組み資質の向上に努めている	13%	59%	11%	3%	14%																										
	⑮学校は前年度の学校評価を生かした教育活動の推進を図っている	8%	60%	13%	3%	15%																										
⑯教職員は公務員として適正に校務を行っている	22%	56%	12%	4%	7%																											
⑰教職員は体罰や不適切な指導の根絶に努めている	23%	54%	13%	4%	6%																											

〔成果と課題〕

教職員の研修の充実では、自己評価で0.6ポイント、生徒アンケートで5ポイント昨年度より評価が上がった。年度初めに新学習指導要領の理解を深められるよう、川崎市教育委員会より22名の指導主事等に来校いただき研修を行ったことが、改善につながった要因として捉えられる。今後においては、GIGAスクール構想の取組を推進できるよう研修を行い、学習活動の充実につなげていきたい。

学校評価を生かした教育活動の推進では、自己評価で1.2ポイント、生徒アンケートで5ポイント昨年度より評価が上がった。今後においても学校経営方針の理解と、重点目標の達成を目指した教育活動が展開できるよう取り組んでいきたい。

適正な校務の遂行と公務員倫理の確立について、体罰や不適切な指導の根絶については、厳守していかねなければならないものであり、教職員が互いにより良い姿を求め、研鑽していくよう努めていきたい。

(6) 家庭・地域と連携する

重点目標	⑱教育相談の充実と家庭、地域との連絡・連携の徹底 ⑲基本的な生活習慣の確立 ⑳情報発信の充実																									
自己評価	評 価 の 観 点	評 価																								
	⑱教育相談の充実と家庭、地域との連絡・連携に努めている	8.4																								
	⑲生徒の基本的な生活習慣の確立に努めている	8.4																								
	⑳情報発信の充実を図っている	8.0																								
生徒アンケート	<table border="1"> <caption>生徒アンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>目標</th> <th>十分達成</th> <th>おおむね達成</th> <th>やや不十分</th> <th>不十分</th> <th>空白</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⑱ 学校は教育相談の充実と家庭、地域との連絡・連携に努めている</td> <td>41%</td> <td>48%</td> <td>7%</td> <td>3%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>⑲ 学校は生徒の基本的な生活習慣の確立に努めている</td> <td>37%</td> <td>51%</td> <td>9%</td> <td>2%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>⑳ 学校は情報発信の充実を図っている</td> <td>41%</td> <td>47%</td> <td>9%</td> <td>4%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>		目標	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分	空白	⑱ 学校は教育相談の充実と家庭、地域との連絡・連携に努めている	41%	48%	7%	3%	0%	⑲ 学校は生徒の基本的な生活習慣の確立に努めている	37%	51%	9%	2%	0%	⑳ 学校は情報発信の充実を図っている	41%	47%	9%	4%	0%
目標	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分	空白																					
⑱ 学校は教育相談の充実と家庭、地域との連絡・連携に努めている	41%	48%	7%	3%	0%																					
⑲ 学校は生徒の基本的な生活習慣の確立に努めている	37%	51%	9%	2%	0%																					
⑳ 学校は情報発信の充実を図っている	41%	47%	9%	4%	0%																					
保護者アンケート	<table border="1"> <caption>保護者アンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>目標</th> <th>十分達成</th> <th>おおむね達成</th> <th>やや不十分</th> <th>不十分</th> <th>空白</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⑱ 学校は教育相談の充実と家庭、地域との連絡・連携に努めている</td> <td>17%</td> <td>58%</td> <td>16%</td> <td>5%</td> <td>4%</td> </tr> <tr> <td>⑲ 学校は生徒の基本的な生活習慣の確立に努めている</td> <td>20%</td> <td>61%</td> <td>11%</td> <td>2%</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>⑳ 学校は情報発信の充実を図っている</td> <td>19%</td> <td>54%</td> <td>19%</td> <td>5%</td> <td>3%</td> </tr> </tbody> </table>		目標	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分	空白	⑱ 学校は教育相談の充実と家庭、地域との連絡・連携に努めている	17%	58%	16%	5%	4%	⑲ 学校は生徒の基本的な生活習慣の確立に努めている	20%	61%	11%	2%	5%	⑳ 学校は情報発信の充実を図っている	19%	54%	19%	5%	3%
目標	十分達成	おおむね達成	やや不十分	不十分	空白																					
⑱ 学校は教育相談の充実と家庭、地域との連絡・連携に努めている	17%	58%	16%	5%	4%																					
⑲ 学校は生徒の基本的な生活習慣の確立に努めている	20%	61%	11%	2%	5%																					
⑳ 学校は情報発信の充実を図っている	19%	54%	19%	5%	3%																					

〔成果と課題〕

教育相談の充実と家庭、地域との連絡・連携の徹底については、自己評価で0.6ポイント、生徒アンケートで4ポイント、保護者アンケートで3ポイント昨年度より評価が上がった。コロナ禍において、年度初めの休校下での家庭訪問や電話連絡の対応、授業が再開してからの対応等が、改善につながったものとして捉えられる。しかし、コロナ禍において、ふれあい広場の中止、入学式や体育祭等の諸行事には保護者までの入場に留めざるを得なかったことは大変残念であった。

今年度より学校運営協議会の設置校として取り組みを始め、保護者や地域協力者からの支援をいただきながら教育活動ができることは大変心強いものであった。今後においても保護者・地域協力者と連携を図り、地域に開かれた学校として教育活動を推進していくものである。

情報発信の充実においては、自己評価で0.7ポイント、生徒アンケートで6ポイント、昨年度より評価が上がったが、保護者アンケートでは差異がみられなかった。生徒の学習や学校生活の様子を理解いただけるよう、授業公開や参観日を増やすなどの工夫を図っていきたい。

(7) 全体総括

〔総括〕

3年間の中期重点目標（平成30年度から令和2年度）として、6項目20の目標を示し取組を進めてきた。今年度がその最終年度となったが、20の目標における自己評価は、「⑨かわさき共生*共育プログラムの実施と活用」の6.9点の一つを除き7.0点を超え、おおむね目標を達成していると評価することができる。また、「③あいさつ活動の推進」は昨年の点数を下回ったものの、それ以外は昨年の点数を上回るものであった。特に、昨年度より評価が大きく上回ったものとしては、「⑮学校評価を生かした教育活動の推進」「⑧支援教育の推進」「⑨かわさき共生*共育プログラムの実施と活用」「⑦ICT教育の推進」などがあげられ、今年度の重点目標と3つが重なるものであった。

生徒アンケートにおいては、昨年のポイントを上回るものが16あり、特に「⑨かわさき共生*共育プログラムの実施と活用」「⑬部活動の安定的な運営」「⑦ICT教育の推進」などがあげられ、今年度の重点目標と2つが重なるものであった。これに対して昨年のポイントを下回るものは4つあり、特に「③あいさつ活動の推進」は昨年度より13ポイントと大きく下回った。

保護者アンケートにおいては、昨年のポイントを上回るものが6つあり、特に「④確かな学力の育成」は昨年度より7ポイント上回っていた。それに対して昨年のポイントを下回るものは10あり、特に「③あいさつ活動の推進」「①キャリア在り方生き方教育の推進」「⑤豊かな心の育成」は昨年度より7～4ポイント下回るものであった。

これらのことから、次年度においては、「③あいさつ活動の推進」及び「⑨かわさき共生*共育プログラムの実施と活用」に特に力を入れて取り組む必要があると考える。

また、GIGAスクール構想の実現に向けて「⑦ICT教育の推進」、さらに、「かわさき教育プラン」の実施期間が令和3年度を最終年度としていることを踏まえ、本校の中期重点目標の期間をそれに合わせて1年延長して取り組んでいくものとし、「①キャリア在り方生き方教育の推進」を重点目標にしたいと考える。

次年度において、これまでの中期重点目標は1年延長して令和3年度までとし、特に次の4つに重点をおいて教育活動を推進することとする。

- (1) 人間としての在り方生き方の軸をつくる
 - ①キャリア在り方生き方教育の推進
 - ③あいさつ活動の推進
- (2) 学ぶ意欲を育て「生きる力」を伸ばす
 - ⑦ICT教育の推進
- (3) 一人一人の教育的ニーズに対応する
 - ⑨かわさき共生*共育プログラムの実施と活用

〔学校関係者評価〕

- ・学校教育目標に対する評価として、教員、保護者、生徒の評価・アンケートは聞き方によってもその結果は異なってくるだろう。小・中連携をしていく中でアンケートに共通の項目があったり、聞き方を揃えていったりすることで、小・中学校の教育活動についてより見えてくるものがあると考ええる。
- ・昨年度より評価が上がっているものが多いが、厳しい評価を受けとめ、改善に向けて取り組んでいく必要があると考える。
- ・生徒の挨拶に課題がある結果となっているが、登下校の見守りをする中で、生徒からはよく挨拶が返ってくる。大人から声をかけることをすることで、挨拶はより良くなっていくのではないかと。
- ・情報発信は大いに進めていくことが求められていると考える。コロナ禍により学校に行く機会が例年より少なかったが、学校ホームページの充実や授業参観の機会を増やすなど進めたい。
- ・ICTを活用した授業が進んでいくことを期待している。PCが一人1台整備されることによって行われる授業を早く見たい。
- ・地域、保護者との取組がコロナ禍で制限された今年度であったが、これが終息し、地域との関わりを行っていく学校として取り組んでいくことを望んでいる。